

議題 3) 各種基礎調査の概要について

【第 9 期】

調査項目	実施状況
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査★	○
在宅介護実態調査★	○
在宅生活改善調査＊	×
居所変更実態調査＊	×
介護人材実態調査＊	○

【第 10 期】

調査項目	実施予定
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	○
在宅介護実態調査	×
在宅生活改善調査	×
在宅生活改善調査【新】	○
居所変更実態調査	○
介護人材実態調査	○

【各種基礎調査の目的・対象・回答方法】

① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定する ・介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用する
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護 1 ～ 5 の認定を受けた方及び施設入所の方を除く市内に住所を有する 65 歳以上の方 2,500 名
回答方法	郵送
前回の調査実績	配布数 2,500 票 有効回収数 1,887 票（回収率 75.5%）

② 在宅生活改善調査【新】

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・現在自宅等にお住まいの方で、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」もしくは「家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者」の生活の維持もしくは就労の継続が難しくなっている理由を把握し、生活の改善、就労の継続につながる取組を検討する ・ケアマネジャーの業務実態を把握し、業務負担の改善に必要な取組等を検討する
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャー（居宅介護支援事業所 17 か所、小規模多機能型居宅介護支援事業所 2 か所、地域包括支援センター 3 か所に在籍するケアマネジャー）
回答方法	電子ファイル（Excel）【事業所票】【利用者票】

③ 居所変更実態調査

目的	・過去１年間に施設・居住系サービスから居所を変更した方の人数や死亡した人数等を把握し、施設・居住系サービスでの生活の継続性を高めるために必要な機能について検討する
調査対象	・施設・居住系サービス事業者（住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、グループホーム、（地域密着型）特定施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、（地域密着型）特別養護老人ホーム）計 19 か所
回答方法	電子ファイル（Excel）

④ 介護人材実態調査

目的	・介護人材の①性別・年齢構成、②資格保有状況、③過去１年間の採用・離職の状況、④訪問介護サービスにおけるサービス提供の実態などを把握し、職員の確保・定着、育成、もしくは業務改善に必要な取り組み等を検討する
調査対象	・施設・居住系サービス、通所系サービス、訪問系サービス、小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護
回答方法	郵送・電子ファイル（Excel）【事業所票（施設・通所系）】【職員票（訪問系）】
前回の調査実績	配布数 73 事業所 有効回収数 54 事業所（回収率 74.0%）